

東大和市の“今”を伝えたい・・・
市議会議員

2020年1月19日

和地ひとみレポート No.340

第19回“市長と語ろう会”タウンミーティング テーマは“商店街の活性化”

■タウンミーティングの会場は

“チェレステ・ガーデン”

…1月14日(火)の19時より、第19回“市長と語ろう会”タウンミーティングが南街のチェレステ・ガーデンで開催されました。今回のテーマは「商店街の活性化」についてということもあり、現在、商店街の活性化のモデル地域として行政と一緒に様々な取り組みをしている富士見通り商栄会の中に位置するこの場所が選ばれたのだと思います。

…このチェレステ・ガーデンとは、南街交番の北側の道を挟んだところ(以前は文房具店だった所)にあります。この施設は、市が昨年度から取り組んでいる『活気ある商店街づくり事業』の一環として創業支援を実現するために昨年の7月に開設されたチャレンジ・ショップ＝新たに商店街で開業、創業したい人の実験店舗です。運営は市のプロポーザル方式の募集に応募した株式会社シーズプレイスがを行っています。この施設名の「チェレステ」とはイタリア語で『天空』のブルーという意味とのことです。

…なお、この“地方創生活気ある商店街づくり事業費”については、今年度の予算では1274.8万円が皆増で計上されており、その財源は地方創生推進交付金で、主に商店街活性化事業に充てる経費とされています。

具体的には、商店街の方々を中心としたワークショップの開催委託料、商店街出店創業等支援委託料などに使用することです。

…チェレステ・ガーデンの中にはキッチン(飲食・製菓業などのため)、サロン(整体・ネイル、エステなどのため)、ショップ(物販などのため)のスペースがあり、開業を目指す人が期間限定でお店を開けるとのこと。現在は、キッチンとサロンが使用されていました。

【東大和市創業チャレンジ施設『チェレステ・ガーデン』】

【目的】

東大和市が実施している、商店街の活性化を目指す「地方創生活気ある商店街づくり事業」の一環として、創業・開業を希望する方に対し、実践を学ぶ場を提供し、地域に根ざした運営を図ることで、商店街の活性化を目指します。

～起業の種が花開く～

市内で創業・開業を希望する方に対し、本格的にお店を出す前のお試し創業や得意を活かす起業の場を提供します。

～地域とともに、豊かなまちづくり～

商店街の集客の拠点とし、商店街と連携し、にぎわいを創出します。

～まちに広がる起業の種～

東大和市の地域の活性化を目指します。



…タウンミーティング当日は、商店会関係者、商工会、中小企業大学の校長、商栄会に位置する大東京信用組合の東大和支店の支店長を含め、20人余りの参加者があり、様々な意見が出され、その意見に対する市長の考えなどを聴くことが出来ました。

■市内の商店街の現状は

…タウンミーティングでは、まず、最初に現在の東大和市内の現状について説明がありました。

【東大和市の事業所数】

小売業:1994年には700弱の事業所があったが、2016年時点では396事業所となっている。

卸売業:1994年には100余事業所があったが、2016年には76事業所となっている。

【東大和市の従業者数】

小売業:1994年には約4000人で2012年には3500人程度となったが、2016年には4101人と微増。

卸売業:1994年には約1000人だったが、2016年には490人と半減している。

【2016年の東大和市の年間商品販売額】

小売業:844億3800万円

卸売業:267億9400万円

【東大和市の現状】

市全体で1990年代から事業者数・常用従業員数・販売額は減少傾向にあり、2011年の東日本大震災により東北地方の生産が減少し、2012年においては全国的に落ち込み、東大和市もその影響を受けたが、その後、復旧・復興需要を背景に少し回復傾向がみられている。しかし、各商店街を見てみると店舗数・会員数は減少し、新規の出店があったとしても商店会に加入しない等、商店街の活動が困難な商店街も増加している。

【東大和市の商店街:9商店街】

- ・茅窪商店街 ・奈良橋商店街 ・光商店会(新堀地域)
- ・武蔵大和駅前通り商店会 ・向原新興商店会
- ・大和通り共栄会 ・富士見通り商栄会
- ・駅前南街通り商店会 ・玉川上水駅前商店街(桜が丘地域)

【商店街が実施するイベントについて】

商店街が実施するイベント等を応援するため、市では『商店街チャレンジ戦略支援事業』として、各商店街が実施するイベント等に対し、東京都とともに補助金を出し応援している(都1/3、市1/3、自己負担1/3)。平成30年度には、市内の7商店街と商工会の合計13イベントに対し、補助を実施。

(裏面に続く)

■商店街の活性化についての市の考えは

…全国的に商店街などがシャッター通りとなることが問題となっています。東大和市においても商工会を通して空き店舗の調査を行ったり、市内で創業（≒開店）したオーナーに対し、初期費用の負担が低くなるように年間3件程度に対し、1件当たり上限20万円の家賃補助をしています。（一定の条件あり）

…様々な補助を行って、商店街を活性化しようとしている市ですが、その理由についてはタウンミーティングで次のような呼びかけとともに説明されました。「このまま商店街の店舗が減少し続けると商店街が消滅し、商店街が無くなると不便に感じたり、まちに活気がなくなったり、街の魅力の低下につながる。活気がなく魅力のない街に『豊かな生活』があるとは思えない。」「商店街の活性化は、商店の活性化だけではなく、地域の活性化だ。そして、事業者だけではなく、地域の皆様と一緒に取り組むものだ。今日のタウンミーティングに参加した皆様も『自分ごととして』商店街の活性化について今後関わっていただき、商店街を含めた地域を盛り上げ、活性化を図っていきましょう。」

■市の取組みと実績は

…では、商店街活性化についての市の取組みと実績はどのようなものか。前述の補助金を含め、主な取組みとしては以下の内容と実績が説明されました。

【商店街が実施するイベント等の応援】

・前述の補助金など

【市内の新規創業者の掘り起こし・応援】

・平成26年度から『創業支援事業』に取り組んでおり、創業に必要な知識付与や空き店舗の活用、融資相談など中小企業大学校東京校のBusinest、商工会、市内金融機関と連携して創業希望者及び創業して間もない方を応援。平成27年度から現在までに15名の方が創業され、その内12名の方が市内で創業し、現在も頑張っている。

【商店街の活性化をみんなで考える】

・商店街の活性化を図る目的で、平成30年度から、3カ年の計画で『地方創生活気ある商店街づくり事業』を立ち上げ、市内の商店街にモデル地域を設定し、そこを重点的に応援することで活性化を図っていくとしており、その後、この事業で得た成功体験を市内の商店街に波及させていき、市内全域の活性化を図ろうと市では考え、応援していく。モデル地域＝富士見通り商栄会

■様々な良い意見が出たが…

…現状と市の考えの説明のあと、参加者から様々な意見が出ました。「下北沢のような活気ある商店街を目指してほしい」、「高齢者や体の不自由な人が、休憩できる場所が欲しい。お店の人などと会話ができればいい」、「商店街に駐車場があると良いが、それは難しいので、ウォーキングイベント的な仕組みで（例えばスタンプラリーとか）集客してはどうか」、「大手小売店

では難しい少量販売や、この店だから！という商品があると良い」などの意見のほか、商店街関係者からは「地域貢献という意味で、地域を盛り上げるために商店会主催で季節の祭りなどを実施している」という取組みについても紹介されました。

…市長からは「何も特徴がない商店街の場合は、特徴を作るといことも一考の余地があるのでは。以前、参加した商店街を表彰するイベントでは、商店街全体のテーマを沖繩にして盛り上げた例もあった。（沖繩とゆかりがなくても）」、「高齢者の話に耳を傾ける傾聴という“見守り的な”要素も良いのではないか」という考えも披露されました。

■市＝行政ができることは？目標は？

…今回のタウンミーティングのテーマの「商店街の活性化」は市の魅力の向上のためには重要な点であることは間違いありません。しかし、今までのタウンミーティングのテーマと比較すると、今までは「市が行っていること＝市が主体となっていること」をテーマにしていたことに対し、今回のテーマを実行する主体は「商店街」という点が大きく違います。もちろん、前述のとおり、市も商店街を応援していますが、取組みの詳細を決定し、実行するのは商店街です。

…様々な良い意見も出て、それに対し市長も考えを述べていましたが、どこか聞いていて違和感を感じたのは「実行するのは？主体となるのは誰？」ということ。いくら市が商店街の活気を取り戻したいと言っても、商売や業態にまで口出しは出来ない中、今回のタウンミーティング開催の意義を市はどう見出し、出た意見を活用していくのか…。

…参加者の方から出た「市には市内の商店街を将来どうしていきたいというビジョンはあるのか？数値目標などは設定しているのか？」という問いも出ましたが、市から明確な答えがなかったことも、私の違和感と通じているように感じます。

…今回のタウンミーティングの主催が市ではなく商店街なら、利用者、顧客の「あったらいいな」の情報を集める場として、とても有効だと思いますが、このタウンミーティングの主催者は市長です。様々な「あったらいいな」の情報を集めて、市はどのように活かすのでしょうか。

…事業を行うには「ヒト・モノ・カネ・情報」が必要。それぞれに対し、どこに市が関わって、どこに関われないのか。そして、国、都、市を通して、税金を補助金として投入して行う取組みにより、市がどれだけ良くなり、市民がどれだけ恩恵を得られるのかということに対し、市のビジョンや目標が漠然としたままでは、取り組んでいる商店街の方の頑張りも表面化、もしくは形になりにくいのではないかと心配です。

…商店街の活性化には多くの人に関係しています。商店などの経営者の考え、利用者である市民の希望に対し、市がどこまで関われるのかということを確認すれば、それぞれの役割、責任のもと、この事業も進められるのではないかと思います。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。学校の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換）に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員

和地 ひとみ

■ 連絡先

和地 ひとみ事務所

HP : <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】 042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102